

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械、電気電子、電子制御、情報、環境都市デザイン工学科	
英語 I (English I)	担当教員	あべ松 伸二(Abematsu, Shinji) 非常勤講師 仮屋 衣里(Kariya, Eri)	
	教員室	図書館2階(Tel. 42-9059) 非常勤講師控室(内線2167)	
	E-Mail	abematu@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義/履修単位/2単位		
週あたりの学習時間と回数	授業(100分) × 30回		
[本科目の目標] 文を読む・書く・聞く・話すための力を伸ばす。辞書を活用して自力で英文読解や英作文ができることを目指す。英語を使った学習活動を通して社会や自分のことに目を向け、考える力をつける。			
[本科目の位置付け] 中学3年間で習得しているべき基礎英語力が必要である。本科目を履修し、英語IIにつなげる。 授業項目、達成目標、学習内容について英文法Iと連携をとりながら進めていく。			
[学習上の留意点] 英和辞典を持参すること。予習・復習を十分に行い、語彙力・構文理解力の強化と内容理解に努めること。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. オリエンテーション・辞書の使い方	2	辞書の特徴と使用方法について理解し、学習に役立てることができる。	英和辞典「使い方の手引き」を読んでおくこと。
2. 文型(SV・SVC/SVO/SVOC)	3	文型の基本的な構造と性質、助動詞の意味と用法について理解し、適切に使用することができる。	Lesson 1(pp. 8-17)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
3. 助動詞(will/can)	3	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	
4. 読む・書く・聞く・話すこと	4	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	
—前期中間試験—		授業項目1~4について達成度を確認する。	
5. 受身形(be 動詞+過去分詞)	3	文型の基本的な構造と性質、受身形の意味と用法について理解し、適切に使用することができる。	Lesson 2(pp. 18-27)
6. 文型(SV00/SV0(0=that節))	3	不定詞と動名詞の意味と用法を正しく使用することができる。	とLesson 3(pp. 28-39)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
7. 不定詞、文型(It.. for-to ~)	3		
8. 動名詞	3		
9. 助動詞 + be + 過去分詞	2		
10. 読む・書く・聞く・話すこと	4	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	
—前期期末試験—		授業項目5~10について達成度を確認する。	
11. 文法事項や語彙等のまとめ	4	本文中の有用表現、動詞句等を理解し、正しく使用することができる。	Reading1 (pp. 40-46)
12. 文章読解、英作文	4		とLesson 4 (pp. 47-57)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
13. 現在完了形、過去完了形	4	現在完了形、過去完了形の意味と用法を理解し、正しく使用することができる。	
—後期中間試験—		授業項目11~13について達成度を確認する。	
14. 比較級・最上級	4	比較級と最上級の違いを理解し、正しく使用することができる。	Lesson 5(pp. 58-69)の内容について、単語や語句を調べ、本文の内容を理解しておくこと。
15. 関係代名詞(who/which/that)	4	関係代名詞(who/which/that)の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	
16. 関係代名詞(what)	4		
17. 文型(SV0(0=wh-節/ if, whether 節))	4	文型SV0(0=wh-節/ if, whether 節)について理解し、適切に使用することができる。	
18. 読む・書く・聞く・話すこと	5	話し手・書き手の意図を理解して、音声又は文字で適切な応答をしたり、自分が伝えたいことを表現できる。	

